

心の輪13R



『**目標は小刻みに**』という資料を通して、
「**目標に向かう意志**」について考えました！



目標を小刻みにすることで、一度にするよりも時間は掛かるが楽になり、少し少し頑張れる。自分もしたことがあるけど、確かに楽しかった。

目標を小刻みにし、達成していくことを積み重ねることで、小さな目標が大きな目標に変わっていくことを学んだ。何かを積み重ねることによって、何かを成し遂げることができることを学んだ。

今まで、でかい目標を立てて失敗したことが何度かあるので、小さい目標を立てて、少しずつ達成できるようにしていきたいです。

大きな目標はすぐには達成できないし大変だけど、小さな目標をコツコツと達成していけば、いつかは達成できる。だから、小さな目標から達成していくことは大切だと思う。

確かに、宿題のときでも、「ここまでやろう」とか、「ワークのここまで終わったら一旦休憩して、またここまでやろう」と考えました。その方が、どんどん小刻みにして小さな目標を達成して、夕食を食べた時の美味しさや、テレビを見たときの嬉しさが大きいからと思いました。

目標のクリアまでが長いと、気が重くなるけど、近いと気が楽になるから、目標がクリアできるように、少しずつ目標を立てていこうと思った。このことを実際に生かしていきたい。

この時間では、一度に頑張らずに、少しずつすることで、時間が掛かるけど頑張れることが分かりました。

コツコツやってみようと思い、計画を立てることも大事だが、それを実行する力、続ける力が大切だと思いました。

将来に向けて大きな夢をもつことは
あなたの可能性を
大きく引き出してくれるだろう。
そうした大きな夢の実現のために
少し努力すれば手の届きそうな
小さな目標の実現から始めてみよう。

Boys, be ambitious



少年よ 大志をいだけ
クラーク

■ウィリアム・スミス・クラーク (1826~1886)
アメリカの教育者。明治の初め札幌農学校(現北海道大学)に招かれ、後年代日本発展に尽力する多くの若者を指導した。

文部科学省資料
『心のノート』P.17より引用

目標を小刻みにすることで、大きな目標ではないので、頑張ろうという気持ちになるから、大きいことでも達成できると思った。多くのことをやる時でも、目標を小刻みにすることで、諦めずにやり切ろうと思うことができることを学んだ。

一気に大きな目標を立てるのではなく、一つの目標を小さく分けていけば、「頑張ろう」という気持ちになるから、私も大きな目標を立てずに、その目標を小さく分けていきたいなと思う。

目標を小刻みにすれば、「まだ頑張れる！！」と思えるから、これからは目標を小刻みにして頑張っていきたいなと思いました。

目標が大きかったら絶望感がすごいけど、小刻みにしていくことで、頑張ろうとやる気になる。だから目標を小刻みにする必要があるのだと思った。

すぐに達成できる目標を立て、達成すると、また少しレベルアップした目標を立てることによって、自分の大きな目標に近付いていくから、目標を小刻みにすることは大切だと思った。